

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	医療機関行政情報システム改善事業	事業開始年度	平成9年4月	作成責任者		
担当部局	医政局	担当課室	指導課	新村指導課長		
会計区分	一般会計	上位政策	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	医療法第25条	関係する計画、通知等	・平成22年度の医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の実施について ・医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査要綱の一部改正について			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療法第25条の規定に基づく立入検査の実施を通して、地域における適切かつ効率的な医療の提供と体制を整備し、併せて医療の質の向上を図るため、立入検査結果データの集積を行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県等からの報告システムを構築することにより、医療法第25条に基づく医療機関への立入検査(医療機関が医療法等関係法令に規定された人員及び構造設備を有し、かつ、適正な管理を行っているか否か等について検査)の結果について迅速かつ正確に報告・集計するものである。					
実施状況	立入検査結果(H20年度分)を平成22年5月14日にプレス発表、同日に厚労省のHPに掲載、都道府県等へ情報提供					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	8	8	15	16	9
	執行額	8	8	13		
	執行率	94.2	96.4	84.8		
	総事業費(執行ベース)	8	8	15		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	予算の執行は全て厚生労働省で直接執行しており、全ての支出先を把握している。				
	見直しの余地	予算額と執行額の乖離の理由を分析の上、予算要求の方法について改善していく点がある場合には、的確に予算に反映してまいりたい。				
予算監視の所見・効率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 本事業は平成21年度及び平成22年度にシステム及び機器の更新を行うために予算が増額しているところであり、予算と執行の乖離の要因等を精査し、経費内容等を見直すことにより予算の縮減を図る必要がある。					
補記	・H21(システムバージョンアップ、対応OSの追加を含) ・H22(サーバ入替含)					

厚生労働省



※ 入札にて業者選定

【医療情報システム経

A. (ゼッタテクノロジー株式会社)  
13百万円

【事業内容】

都道府県等から報告される、医療法第25条に基づく医療機関への立入検査結果について、迅速かつ正確に報告・集計するシステムを構築するものである。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(ゼッタテクノロジー株式会社)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	医療機関行政情報システム運用 支援	6			
	医療機関行政情報システム改善(ピスタ対応等)	7			
計		13	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0